



# 300km/h

## 男男



# 大いにダブル

念願の300km/hを達成した男たち。もう本誌でおなじみの顔ぶれだが、この4名に登場願って、胸のうち、300km/hの感想などを語ってもらった――。



皆さんが最高速を目標にやり出したのはいつ頃からですか。雨さんのところはもう長いですね。

雨宮 うちが一番長い、6年位かな。だから最高速が出なきゃ、おかしいんですよ。出て当たり前ですよ、うちは。それだけに、よけいきつい。

大川さんのところも、同じくらいですか。

大川 いや、雨さんのほうが先ですね。トラスト自体でやり始めたのは、それほど前ではないんですよ。

山本 2年半、いや3年くらい前。

大川 ターボが始まった頃からだから、そんなもんだね。

そうしますと、ちょうどチューニングブームの頃ですね。山本さんも同じ頃ですか。

山本 うん、走ったことある。それが今までのトライアルの最高速やね。

ありましたね。

10年くらいかな。

チャレンジは、今でもあるんですか。

牧原 ありますよ。兄がやっています。トリアルで本格的な活動を始めたのは、どの車からですか。

牧原 最初の1年はブランドがあつて、2年位前に、シルビアから始めたんやね。シルビアのキャプターボ。

大川 ああ、それどこかで見たことあるな。横にトリアルと書いてあったでしょう。

牧原 235km/hやったね。今でもよく覚えてる。

うちの雑誌にも、一回出たことありましたね。

牧原 うん、走ったことある。それが今までのトリアルの最高速やね。

分てバラしたりしていたから。車もサラリーマンの頃から、いじってましたよ。

大川 僕はいかががですか。

大川 僕は25年の東京生まれ。自動車は、16歳で免許をとったときから、自分の車をよく、いじってましたね。

そして深川内燃機に行つて、今のトラストです。早川さん(トラストの社長)とは今から14、15年前、レースのときに知り合つたんですよ。

トラストは長いんですか。

大川 4年くらいでしょう。

牧原さんはいつ頃からですか。

牧原 長いといえは長いかな。雨さんの258km/hのときも一緒やもんね。その頃はチャレンジで、今のトリアルが3年だから、合計して

皆さん300km/h達成、おめでとございませす。それではまず、皆さんの簡単な経歴からお聞かせください。最初に雨宮さんからお願ひします。

雨宮 昭和21年3月3日生まれで、山梨県出身です。最初は雨宮塗装という板金塗装の工場を創業して、それから雨宮自動車、RE雨宮となつたわけです。チューニングを始めてからは、10年位になるね。

山本さんは、以前はサラリーマンだったそうですが、チューニングに入ったきっかけはどのようなところからですか。

山本 きっかけといつても、要するに好きだということですね、やっぱり。高校生の頃からオートバイを自